

令和4年度第1回大山崎町男女共同参画計画懇話会 議事録

日 時：令和4年11月7日（月）午後3時30分～午後5時00分

場 所：大山崎町役場 3階 中会議室

出席者：＜委員＞有馬委員、石原委員、上田委員、幸山委員、小島委員、辻本委員、
中澤委員、皆川委員 ※五十音順

＜事務局＞谷利生涯学習課長、生涯学習課生涯学習・スポーツ振興係東郷主任、
同柳瀬主任

欠席者：＜委員＞安楽委員

1. 開会
2. 教育長あいさつ
3. 委員及び事務局紹介
4. 議事

（1）委員長・副委員長の選出

委員長 幸山 由佳

副委員長 石原 祐次

（2）「大山崎町第4次男女共同参画計画」の策定に向けて

＜意見交流＞

【委員】審議会の女性比率が低いのは、行政が審議委員を決定できるので、もっと高くすることもできるのではないか。

【事務局】町としても声を掛けやすい人などに偏っている傾向がある。今後は、もっと対象を広げていきたい。

【委員】PTAで活躍している人でも、声が掛かっていない人はいる。普段声掛けしていない団体などにも声掛けしてみると良いと思う。

【委員】学校でも性の尊重、人権、LGBTQに関する教育を行っている。やはり、一人の人間として尊重することが大切である。

【委員】計画も大事だが、今、現実にかけていることへ向き合っていくことが大切。その積み重ね。自分の知人（若い方）でDV被害者がいたが、大山崎の相談窓口がわからなかった。長岡京市の個人で活動されている人に相談したところ、長岡京市の窓口を紹介され、そこに相談し、現在、解決に向かっている。大山崎にも専門的に相談できる人、ワンストップで進

められる人がいればいいなと思う。京都府に専門の相談窓口があるのはわかるが人にとっては、いきなりそこへは行きにくい。行政に電話することすら抵抗がある。

【委員】民生委員をやっている、これまでいろいろと相談を受けてきた。DVの相談を直接受けたことはないが、生死に関わるような相談をされてきた男性はいた。急ぐ案件があれば、行政や社会福祉協議会に繋ぐようしており、社協の職員などには日々協力をしていただいているが、確かに専門的な人がいればいいなと思う。今日はこの懇話会で学びたい。

【委員】「みとめ愛」という名前がいいと思う。今日、この仕事に行ってくるよと園児に言ったらお仕事頑張ると温かく送り出され、こういう温かい空気が大切だと思う。LGBTQの記述が入っていないので、入れても良いのではないかな。また、大山崎町の人口規模が良い。住みよい町にしてもらいたい。モデルプランとなるようなものを作っていただきたい。

【委員】同じく「みとめ愛」が良い名前だと思う。人権問題についても明記してはどうか。男女共同参画という言葉がなくなれば本当は良い。絵本の読み聞かせをしているが、絵本の中でも冒険ものは男の子でかわいい子やきれいな子は女の子のものということに、今はどうなんだろうと、ある新聞に載っていた。ひと昔前はそういったことを考えることもなかったもので、難しいなと思う。

【委員】商工会の役員にも女性が少ない（女性の会の理事3人/19人）。色々と学びたい。

【委員】（第4次男女共同参画計画（素案）について）生理のことなどかなり突っ込んで書いてもらっていると思う。コロナをきっかけに、そういった話も公にしやすくなった。ゴールデンタイムにそのようなCMが流れたりするなど。学校での小さいころからの教育が大事ということも共感。性行為などに関する教育も必要だと思う。出産後に女性は教育を受けるが、男性は受けない。求められて断れず…ということもある。学校のみではなく、大人への教育も必要である。（第4次男女共同参画計画（素案）の）P27のDV被害「大声で怒鳴られた」とかP21の「育児・介護休暇制度の充実」などは女性の値が高い。「男女」という分け方は、よくないという意見もあるが、現状、男女別に調査することで、こういった結果が見えてきているところもあると思う。自治会長は男性比率が高いが、実際には妻（女性）が実働しているケースも多い。この人たちの名前を出せば、女性比率が上がると思う。

【委員】PTAは女性比率が高い。PTAは女性のものと思っている人も多く、男性にとっては敷居が高いのでは。放課後児童クラブの保護者会では、餅つき大会等のイベントを通じ、男性参加を促して、父親同士のコミュニケーションをとってもらう機会を設けている。すると男性同士で、役員をやってみようかとなり、男性の参加が増える年もあった。

【委員】60代70代の女性は、パソコンスキルがない人が多く、役を引き受けるとどうしても求められるので、ネックにもなっていると思う。家庭内での夫婦の役割分担が大切。自分が生死を分かち経験をしたとき、初めて夫が家事全般をしてくれた。親の姿を見て子どもは育つ。身近な大人が与える影響は大きい。今の世代は、昔よりそういった分担はできていると思う。

【委員】幼稚園での送迎でも男親が子どもを連れてくるが増えた。コロナで在宅が増えたことも寄与していると思うが、昔では考えられない。少しずつ良くなっていっていると思う。

【委員】夫が少し家事をしても「自分は家事をした！」と思ひ込む。

【事務局】「手伝っている」と思っている人が多い。「手伝っている」ではない。男性の家事の参画を促進することを目的に、今年度「おとう飯レシピ」を募集した。応募があったレシピをHPに公開し、投票を行った。投票自体も想定より多くなかったが、レシピの応募があったの5件だったことが驚きだった。次、開催するなら周知方法やもっとおもしろい企画にしないと集まらないと思う。

【委員】続けることが大事。

【委員】島本町では、男性のみの料理教室でコミュニティの和が広がるような企画をされている。

【委員】「酒のつまみ」のレシピにしぼって食べ飲みしながら交流を深めたりも良いと思う。

【委員】男女共同参画について、YouTubeで講師による説明や周知をしたら良いと思う。

【委員】パートナーシップ制度の導入は検討されているのか。

【事務局】今のところ特にしていない。

【委員】LGBTQに対することはぜひ、計画に盛り込んでもらいたい。

【委員】横文字のキーワードは知らない言葉が多いので、最後の用語解説は良かったし、必ずつけてほしい。

(3) その他

- ・事務局から「令和4年度男女共同参画事業共催 大山崎町社会教育関係団体等交流会の開催について」説明。

閉会